

『2022年度 堺ブロック法定外研修』 報告

開催日：令和4年9月21日（水）14:00～16:00（2時間）

実施方法：リモート（ZOOM）にて

今回は法定外研修にて『防災』をテーマに実施させていただき80名の方が参加されました。防災というテーマから、申し込みも多数いただきありがとうございました。

講師として、堺市健康福祉部局 生活福祉部 地域共生推進課 鷲見佳宏様に講義いただきました。内容は「ソーシャルワーカーとしての災害について考える・地域のケアマネジャーの災害に対する意識の向上」として、必ず来ると言われている南海トラフ大地震や昨今の異状気象を踏まえ、地域のケアマネジャーの災害に対して検討できる機会を作り、日頃の事業運営を含めた平常時の備えをどのように行っていくのかを学ぶ機会とさせていただきました。



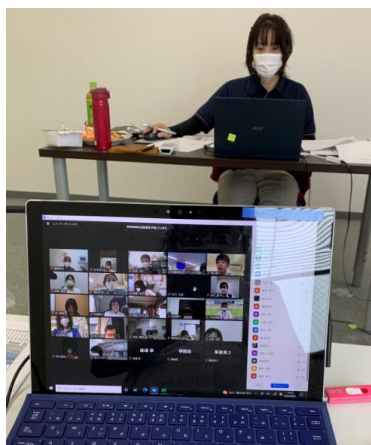
防災マップには

- ① シニア世帯向け防災マップ
- ② 妊産婦世帯向け防災マップ
- ③ 優しい日本語で解説される防災マップ

があり避難するポイントや・避難する際の持ち物など詳しく記載されています。

私たち介護支援専門員は被災する立場のみではなく、「受け入れ」の立場からも検討・調整をしていく必要があります。

福祉避難所とは、すべてのケアも含めて受けることができると感じている方が多い中あくまでもバリアフリーの環境を提供する場所が福祉避難所であること・ケアも含めた支援を必要とする場合には施設との入所契約・ショートステイの利用が必要となります。



被災した時にも、生活は継続していくことを基本とし、介護サービスを中断させない・又は速やかに復旧することができるための方針としてBCP（事業継続計画）が必要となってきます。

事業を中断させないための資源として①職員②建物・設備③ライフラインが必要となってきます。

常日頃からのように確保していくのか、慌てない準備が必要になります。

何から手を付けてよいかわからない場合にはまずは、自分の住んでいる地域・事業所の地域・利用者の地域を防災マップで見ることから始めていくことでも良いと学びました。



いつやってくるか分からない災害に備え、定期的に検討する機会・業務を見直す機会が必要であると考えています。今後とも定期的に防災をテーマに研修会の開催ができるよう努めてまいります。

大阪介護支援専門員協会 防災チーム 松井 知子



介護支援専門員協会 災害対策について

